
岐阜県立中津川工業高等学校

学校長 堀 秀樹

学校住所 中津川市千旦林1521-3 電話 0573-68-2115

1 会議名 第3回中津川工業高等学校運営協議会（兼 第2回学校活性化推進協議会）

2 開催日時 令和2年2月3日（月）10:30～12:30

3 開催場所 中津川工業高等学校仰星会館第1研修室

4 参加者 委 員 小 椋 匡敏 中津川市商工観光次長（代理）
小野 真人 坂本中学校長
勝 一也 P T A会長
加藤 早苗 大同キャスティングス
楯 明夫 坂本小学校長
成瀬 博明 中津川商工会議所専務理事（代理）
沼田 麻衣 美濃工業
牧野なゆみ 坂本幼稚園長
松井 進 同窓会長
丸山 優 坂本区長 （敬称略 五十音順）
学 校 側 堀 秀樹 校長
伊藤 昭嘉 教頭
中山 栄幸 事務長
藤浪 元明 教務主任
水谷健太郎 生徒指導部長
山田 豪 進路指導部長
後藤 昭博 工業部長
県教育委員会 日比 学 教育総務課

5 会議の概要（協議事項）

（1）開会挨拶（原文まま） 学校長

皆様、本日は大変お忙しいところ、本校の「学校運営協議会」にお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。学校紹介ビデオの後、課題研究発表会を参観していただきます。また、最後の意見交換では、ご意見やご感想を委員の皆様からいただければと考えております。

「地域に愛され信頼される工業高校を目指して」に関して、本年度も資料にあるように多くの取組を実施してまいりました。また「卒業していく生徒の姿で、社会の信頼を得る学校に」を目指し、地区で最も就職に強い学校の実現や地元産業界への貢献に努めてまいりました。その成果がどうかは分かりませんが、現在のところ本校の志願者数は昨年よりやや増えており、さらなる努力を続けていきたいと考えています。本日はよろしくお願ひします。

(2) 県教育委員会より

「ふるさと教育」の充実の観点から、当面は、高校の統廃合や再編等については行わない予定であり、現在の学校数を維持する予定である。来年度はG1、G2グループの全ての学校が活性化推進協議会と学校運営協議会を一本化することになるが、さらに各学校の活性化を期待する。またICT環境の充実として本年度ホワイトボード、プロジェクター、タブレット等を整備した。適切に活用し充実した教育活動を展開してほしい。

(3) 学校説明等

- ・学校紹介ビデオ紹介（本年度作成）

(4) 課題研究発表参観

- ・電子機械科
- ・建設工学科

(5) 意見交換

意見① 「課題研究発表会」の資料にカラーの資料とモノクロの資料があり、差を感じるので、全科統一してほしい。資料の中でcmとmmが混在していたので長さの単位はmmで統一するべきであると思う。

意見② 市内企業を訪問すると、企業の中津川工業への期待の高さを感じる。しかし、市外の企業からの求人も多い状況で、なかなか市内企業への就職者が増加しない。是非、学校からも市内企業の情報を出して、就職希望者が市内企業に就職するように働きかけてほしい。

意見③ (課題研究発表会を見て)以前は中学生向けの発表会などを行っていたと思うが、今は行っていないのか。生徒が原稿をずっと見て話していたこともあり、プレゼンテーション技術は改善の余地がある。社会に出てからも必要な能力なので、ぜひ身につけてほしい。市内企業への就職について、何年か経って地元に戻ってくる、というパターンもありうるので、卒業後の就職状況について市へ情報提供してもらえるとよい。

意見④ 学校はよく努力しているし、頑張っていると思うが、求められているものは達成されていないと感じる。子どもの数が少なくなっている現状では、学校が単独校として存続する

努力をするだけでなく、中学生の公立志向をどのように醸成するかが重要である。志望者数が定員を割ると、どうしても学校が活性化されていない印象を与えるので、私立に対抗する策を考えてほしい。地元就職率については、外(=街)にでるメリットに対抗できるものを考える必要がある。Uターンでもよいので、引き続き検討すべきである。

意見⑤ 生徒の姿を見て、誠実に取り組んでいる印象を持ち、その陰には教職員の細やかな指導があると感じた。小中学校の課題としては教職員の働き方改革があるが、中津川工業高校ではどのように取り組んでいるか。

意見⑥ (課題研究発表会を見て)発表を聞く姿勢やスリッパが揃っている様子から、生徒が真面目に取り組んでいるのが分かり、さすが工業高校だと感じた。一方で、プレゼンテーションについては、声が小さく、課題があると感じた。

意見⑦ (地元就職について)中津川市が、子どもたちにとって勤めたいまちになることを願っている。(課題研究発表会を見て)こども園にも、ぜひ何か作ってほしいと感じた。幼稚園実習も、毎年精一杯取り組んでくれていて、実りある実習になっている。

意見⑧ (1年間学校運営委員を務めて)学校の中に入って、さまざまなものを見ることが出来てよかった。学校や生徒に対して、企業が出来ることを考えるよい機会になった。例えばプレゼンテーションに関して、やはり技術や知識を磨き上げる機会が必要なので、そこには企業としても協力できる部分がたくさんあると思う。やれば今よりも必ずレベルが上がる。人事担当として学生と関わっているが、地元に残るメリットが今ひとつ学生には伝わっていないように感じる。また、現状としてはUターンで地元に戻ってくる人が多い。今のうちから企業の情報を知っておいてもらうことが重要で、アプリなどで「見える化」することも有効だと考えている。これからの仕事は、単純作業をこなすだけでなく「考える」ことが求められる。生徒の「考える力」を育てられるとよい。

意見⑨ 発表を聞いて、今の学校の様子が分かった。よい取組もあったので、科を越えた発表の機会などあればよいと思うが、全体での発表は現在行っていないのか。ものづくりの場や、ものづくりの楽しさを学ぶことが出来る学校の様子がよく分かった。

意見⑩ 企業見学の際に、生徒の目が生き生きしていないことがある。企業見学の際には事前学習をもっと徹底してほしい。また、地元企業(とくに中小企業)に積極的に生徒を送るように働きかけてほしい。生徒の学力を上げられるように、特に下層の生徒への支援をもっと手厚くしてほしい。学校周辺の林を切って、リニアの駅から学校が見えるようにしてほしい。

意見⑪ 学校紹介のビデオがよかった。生徒はなかなか紙媒体のものを見ることがないので、映像などで生徒に分かりやすく訴えられるのはよい。(部活について)息子はバスケットボールがしたくて工業高校に入学した。おそらく部活がやりたくてこの学校に来ている生徒は他にもたくさんいると思うので、部活はぜひ頑張ってもらいたい。娘は学校説明会の雰囲気でお校を選んだが、中学生は学校説明会などでの「雰囲気」も見ていると思うので、そうしたところにも力を入れてほしい。

意見⑫ 独自選抜による部活動の成果が見えない。外部指導者なども活用しながら、結果が出るように、より頑張ってもらいたい。

※本校の方針や教育活動について委員の皆様には、第1回目、第2回目同様にご承認いただいた。

(6) 諸連絡

6 会議のまとめ(閉会挨拶:原文まま)

本日は大変お忙しい中、本校活性化のため、また学校運営協議会として本校の方針や教育活動について熱心にご協議いただきまして、誠にありがとうございました。今回も含め過去2回の会議でいただきました、貴重なご意見を、早速、校内で共有させていただき、できることから対応していきたいと考えております。本校がますます、魅力ある「地域に愛され信頼される

工業高校」となるために、「ふるさと岐阜・中津川への愛着を育む「ふるさと教育」を推進し、地域産業を担う専門的職業人を育成」していけるように、さらに精一杯努力してまいります。本日は、お忙しい中、ありがとうございました。